

平成27年3月9日(月)
国土交通省九州地方整備局
鹿児島国道事務所

記者発表資料

いしき
国道3号伊敷団地入口交差点改良工事が完成
「安全性」と「快適性」が向上

～ 車線追加及び区画線と標識のカラー化による右折レーンの延伸 ～

○国土交通省鹿児島国道事務所では、「事故ゼロプラン」に位置づけられている鹿児島市伊敷の国道3号伊敷団地入口交差点改良工事を行ってまいりましたが、このたび平成27年3月に以下の大型標識を設置し、工事のすべてが完成しましたので、その効果をあわせてお知らせします。

《整備内容》

伊敷団地入口交差点における右折レーン延伸(L=80m→L=150m)

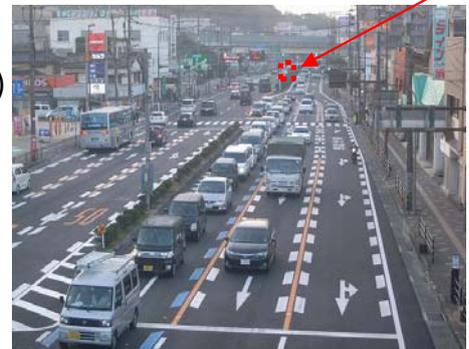
- ・伊敷支所前交差点における車線の追加
- ・区画線と標識のカラー化



今回新設した大型標識

《整備効果》(対策前調査:H26.7.16 対策後調査H27.1.20)

右折レーンはみ出し発生比率が **6割減少**
事故につながる直進阻害発生回数が **6割減少**
利用者を対象にしたアンケート調査で **8割以上**
の方が**安全性と快適性が向上**したと実感



交差点整備後

※「事故ゼロプラン」とは、国土交通省が取り組む「事故危険区間解消作戦」のことであり、交通事故が多発する特定の区間等に対して、集中的・重点的に交通事故対策を実施することで、交通事故の撲滅を目指す取り組みです。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 鹿児島国道事務所

技術副所長、交通対策課長

電話 : 099-216-3111(代表)

- ・国道3号の伊敷団地入口交差点は、隣接する伊敷支所前交差点との距離が短く、伊敷団地方面への右折需要に対して十分な右折レーンが確保できていない状況であるため、右折待ち車両により後続の直進車両が阻害され追突事故等が発生していました。また、交通の流れにゆがみが生じ交差点付近では車両相互事故のほか、横断歩行者を視認しにくいいため横断歩道横断中の接触事故も発生していました。
- ・このため、伊敷支所前交差点の車線の追加及び区画線と標識のカラー化による伊敷団地入口交差点の右折レーンの延伸を実施し、平成27年3月に工事が完成しました。
- ・これにより、「安全性」の向上と「快適性」の向上が期待されます。

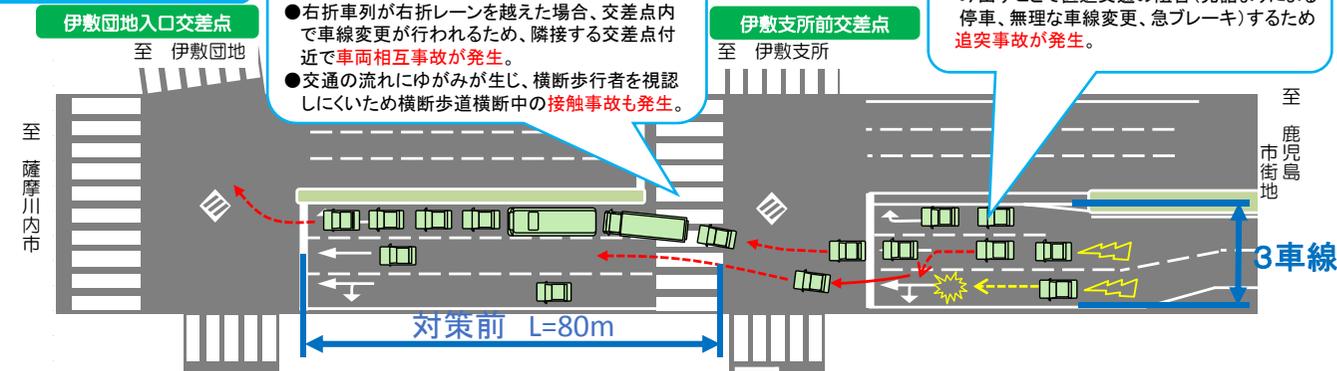
位置図



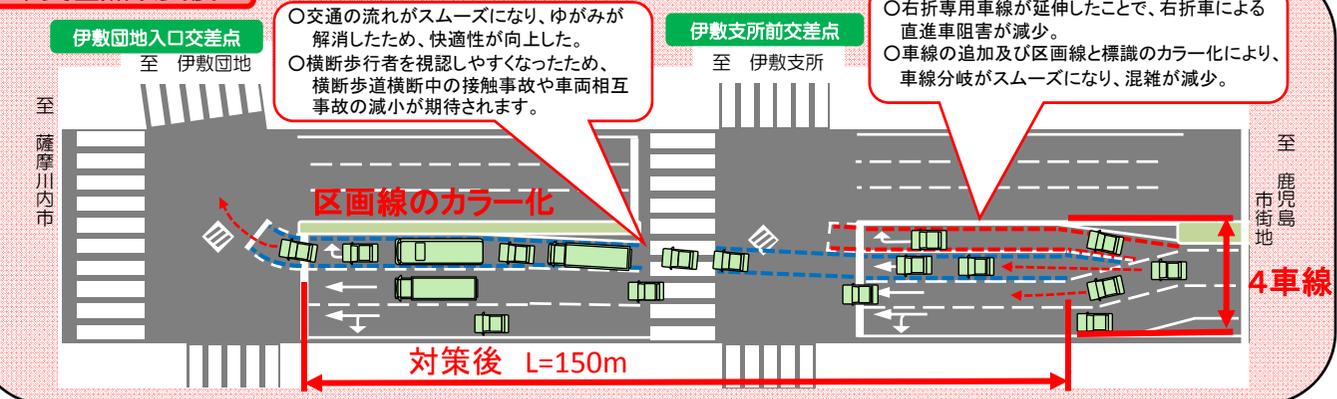
国道3号
伊敷団地入口交差点



◇交差点改良前



◇交差点改良後

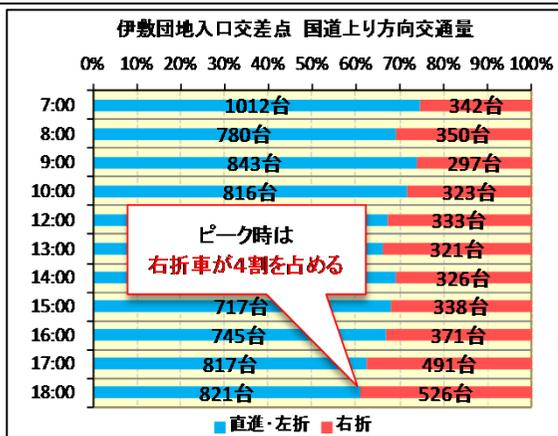


■問題点① はみ出し車両による追突事故の発生

◎伊敷団地入口交差点から伊敷団地方面へ向かう右折車列が、隣接交差点の直進車線へはみ出し、直進車交通を妨げている。
また、はみ出し車両を避けるための車線変更や、それらの車線変更車両を避けるための衝突回避操作(急ブレーキ・急ハンドル)などにより、**追突事故が発生**している。

<原因>

交差点間距離が短く(約80m)、伊敷団地方面へ向かう右折需要に対して十分な右折レーンが確保できていない。



右折車列を避ける
車線変更

衝突回避操作
(ブレーキ)



■問題点② 隣接交差点付近の接触事故の発生

◎隣接交差点通過直後に右折レーンへの車線変更が行われるため、交差点内でのハンドル操作が必要となり、**車両相互事故が発生**している。横断歩行者を視認しにくい横断歩道横断中の歩行者との**接触事故が発生**している。

<原因>

ピーク時は伊敷団地方面への右折需要が高く、大多数の車両が右折レーン側へ集中するため、交通の流れにゆがみが生じ走行性が悪く、横断歩道横断中の歩行者を視認しにくい状況である。

伊敷団地方面への右折車列とそれを避ける直進車両で、交通の流れにゆがみが生じている



交差点内に残った右折車両により交差点道路交通や横断歩行者を視認しにくいため**接触事故が発生**している



参考資料(3) 整備効果

■ 伊敷支所前交差点における車線の追加及び区画線と標識のカラー化する「伊敷団地入口交差点の右折レーン延伸」により、はみ出し車両が減少し、また車線分岐がスムーズになるため、交通事故等が減少し、「安全性」と「快適性」の向上が期待できる。

○右折レーン延長が、80mから150mに延伸したことにより右折滞留の容量が増加し、直進車線へのはみ出し発生比率が大幅に減少した。これにより、直進阻害発生件数も大幅に減少し、「安全性」の向上が期待できる。



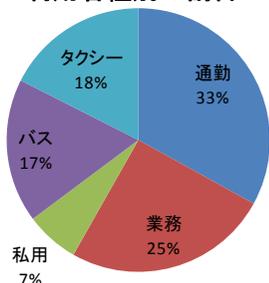
○伊敷支所前交差点の車線追加により、伊敷団地入口交差点右折車線への進入がほぼ直進で進入できるようになり、交通の流れのゆがみが解消した。また、区画線と標識のカラー化による車線誘導と中央分離帯幅員縮小により、視認性が良くなるなど、利用者アンケートの結果からも「快適性」の向上が確認できる。



■ 利用者アンケート

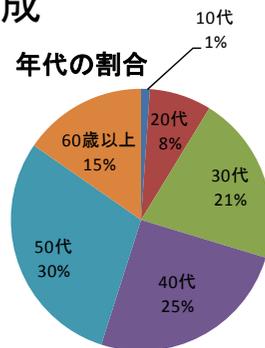
● アンケートにご協力いただいた方の構成

利用者種別の割合



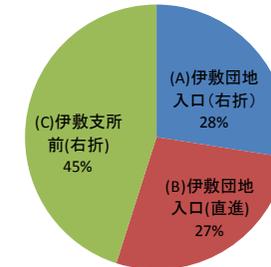
N=91

年代の割合



N=91

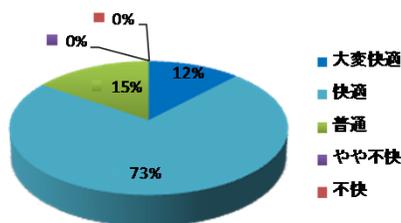
利用交差点割合



N=91

● 交差点改良後の快適度・安全性・満足度について

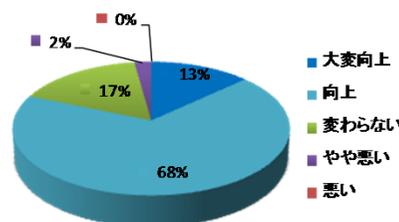
■ 交差点の快適性



85%が快適になったと回答

N=91

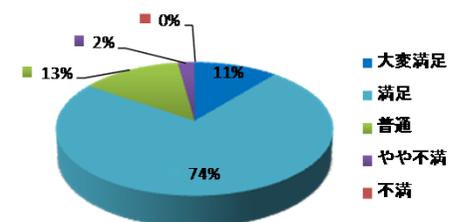
■ 交差点の安全性



81%が安全性が向上したと回答

N=91

■ 交差点改良の満足度



85%が改良に満足していると回答

N=91

● 交差点改良についての意見紹介

【満足度の高い方の代表的な意見】

- 伊敷団地方面への右折のための渋滞が少なくなって通行しやすくなった。
- 伊敷団地入口交差点と伊敷支所前交差点での重なりや、無理な車線変更がずいぶん解消されている。
- ドットラインに色が付いているので、一般車両の割り込みが少なくなり、スムーズな流れになった。

交差点利用者（一般利用者・バス・タクシー運転手）へのアンケート調査を行った結果、

8割以上の方が、快適性、安全性が向上し、満足していると実感している。